




新時代の人間の安全保障： 国連事務総長報告 (A/78/665)

国連事務総長特別顧問 高須幸雄
2024年5月30日



人間の安全保障と Agenda 2030の相互関連

= To realize Human Security for All



1992: 国連開発と環境会議(リオ): Agenda 21
(1995: 第1回社会開発サミット)
(1997—アジア通貨経済危機)

2000: ミレニアム開発目標(MDGs —2015)

2005: 国連首脳会合成果文書

2015: **Agenda 2030 と持続可能な開発目標**
(SDGs —2030)

2023: SDGs サミット: SDGs政治宣言

2024: 国連未来サミット: Pact for the Future

2025: 第2回社会開発サミット

1994: UNDP人間の安全保障に関する人間開発報告

1998: **日本政府の人間の安全保障に関するイニシアティブ**

1999: 国連人間の安全保障基金

2001—2003: 人間の安全保障に関する国際委員会
(緒方貞子—アマルチア・セン共同議長)

2012: **人間の安全保障に関する国連総会決議 (A/66/290)**

2013: 人間の安全保障に関する第3次事務総長報告
(A/58/685)

2023: UNDP人間の安全保障に関する特別報告・
「人新生時代の人間の安全保障に対する新たな脅威」

2024: **人間の安全保障に関する第4次事務総長報告**
(A/78/665): 国連総会本会議討論

人間の安全保障に関する国連総会の共通理解 (決議2012年 A/66/290)

原則

- **全ての人は**、恐怖からの自由、欠乏からの自由及び全ての権利を享受する**平等な機会**を有する
- 政府は、市民の**生存、生活及び尊厳**を確保する第1義的な役割・責任を有する
- 国際社会の役割は、各国政府が現在及び未来の脅威に対応する能力を強化するために、**要請に基づき、必要な支援を提供**することである

アプローチ

- **人間中心の視点**:最も脆弱な人に**焦点をあてる**
- **包括的**:分野を超えた活動を統合する
- **置かれた状況に応じた対応**:不安や脅威の根本原因を特定
- **不安や脅威の予防**:保護と同時に**エンパワメント**を重視
- **パートナーシップ**:政府以外のステークホルダー(自治体、企業、市民社会 など)との連携

なぜ10年振りに新報告？： 不安定性を増し、複雑化する世界に おいて、人間の安全保障の議論を 再活性化する必要性

世界中の国、地域、国
連システムレベルで、
人間の安全保障の原
則を適用した広範な実
績、分析

SDGsの達成を加速化
するのに役立つ有益な
教訓を提供

複雑かつ多様な世界的
課題の解決に不可欠な
連帯、新しい多国間主
義を実現するための枠
組みを提供

Our Common Agendaの諸課題
に対する国連システムによる多様
な活動を統合し、未来サミットの
分野横断的な戦略となる、統一的
な視点・行動枠組みを提示



新時代の優先課題：Our Common Agenda



人間の安全保障の適用例の拡大(第2章)

- **国レベルでの適用例** 憲法、安全保障戦略、国内政策方針、ODA政策に反映:

アジア: 日本、韓国、タイ、モンゴリア、ウズベキスタン、バヌアツ、ネパール、ヨルダン、カタール、

アフリカ: エジプト、ガーナ、ケニア、ナイジェリア、セネガル、南アフリカ、チュニジア、ケーポ・ベルデ、セイシェル、ベナン

ラ米: チリ、コロンビア、エクアドル、エルサルバドル、メキシコ、

欧州: オーストリア、リヒテンシュタイン、ポルトガル、スロベニア、スウェーデン、スイス、英国、アルメニア、ラトビア

地域機関による適用例

アフリカ: Agenda 2063, Silencing the Guns in Africa, ECOWAS

南太平洋地域: 地域安全保障に関するボア宣言

アラブ地域: LASによる人間の安全保障イニシアティブ

ラ米・カリブ海地域: PAHOによる包括的開発計画

EU: 2022年安全保障と防衛の戦略指針

- **国連システム機関による適用**

(国連人間の安全保障基金)

- 複合的な課題に取り組む包括的解決のための枠組みを提供: インドネシア、ジャマイカ、ケニア、リベリア、タジキスタン、グアテマラ
- 複数の機関、官庁間を調整するメカニズムを推進: PAHO
- 多数のステークホルダーの関与を包括するプラットフォームの創設: レバノン
- 地域レベルで行政と住民組織の協力、信頼関係を構築するパートナーシップの強化

人間の安全保障のアプローチ： SDGsの達成を加速化する方法 (第3章)

分析、計画、連携、財源すべての段階で統合したアプローチ

- 特定のSDGsターゲット向け活動が主流。相互に関連したSDGsに対処するため分析枠組み、**多分野を統合した、分野横断的な**政府各省の総力による取り組みを促進
- **地域レベルの統治**を強化し、地域社会レベルからの**積み上げアプローチ**の枠組みを提供
- リスク分析に基づく計画作成により事前診断を強化し、**予防戦略、危機対応能力を向上**
- **最も遠く取り残された人に最初に手を差し伸べ**、ジェンダー平等を促進する
疎外化、不利な状況を作り出している構造的、地理的理由、属性に基づく諸条件を理解する
- **パートナーシップを拡大し、資金をプール**し組み合わせる
教育・保健など社会支出費の確保、社会保障制度の充実
国レベルで広範なパートナーからの資金を組み合わせる

共通の優先課題に対処する分野横断的 な行動枠組み・未来志向の視点 (パラ45)

- 相互に関連する多くの課題が、一人一人の生存、生活、尊厳に対して与える**影響の全体を評価し、「誰も取り残さない」ための戦略**を拡大する
- 人が抱える**多面的な課題・不安の中の盲点**を見つけ対応する、そのために分野、組織を超えた**統合的戦略**を前進させる
- **人が生活する地域の現実**を、国や世界レベルで進む**メガトレンド**、世界的な動向と関連づける
- **多数のステークホルダーとの連携**を強化し、参加型関与を促進する
- 世代、社会、国を超えた**「連帯」**をビジョンと行動の両面で再認識し、強化する
人間と地球の**「連帯」**を通じて、人間と自然との調和を実現する

新たな多国間主義に向けて


包摂的で代表制にその正当性を有する国連が その中心的役割



グローバルガバナンス

 新たな時代に適合した**国連改革**が不可欠
国連と**地方自治体**及び**地域機構**との連携関係の強化

連帯

 人類の未来は、**連帯、信頼**、そして一つの地球家族としてともに**力を合わせて働く**
我々の能力にかかっている
我々は協力の梃子となる**共通の価値、共有する利益**を探求しなければならない

データ

 **国際比較可能で、細分化したデータ**を収集する各国の統計能力向上の支援
人間の安全保障リスクに関するデータ基準の確立を支援する国連及び国連外での
プラットフォームの創設
国連システム諸機関による国、地域、世界レベルでの**データ共有制度**を強化

人間の安全保障を再活性化するための今後の進め方



今日の脅威: 国レベルでは、社会全体の取り組みが必要 **whole-of-society approach**
世界レベルでは、人類全体の取り組みが必要 **whole-of-humanity approach**

人間の安全保障は、共通する価値・概念、事業枠組み及び多数のステークホルダーによる協力と対応を統合するアプローチを提供

未来サミット

既存の国際約束の実現を促進し、新たな課題の解決策に合意する絶好の機会
多数の加盟国が人間の安全保障を国連の主要なアジェンダ、活動に一層力を入れて主流化することを歓迎

人間の安全保障は、**未来サミット、Pact for the Futureの多岐にわたるテーマや要素に一貫性を持たせる横断的かつ全体的な枠組みとして有益かつ適切**

人間の安全保障を再活性化するための勧告

アプローチ

多面的かつ相互関連する世界の諸課題に対処するうえで、国連総会決議66/290の共通理解に

盛り込まれた**人間の安全保障とその原則の有効性と価値を再確認する**

政府は、市民の生存、生活及び尊厳を確保する第1義的な役割・責任を有するとの原則を強調する

人間の安全保障は、すべての人の**保護とエンパワーメント**を強化し、**加盟国間の連帯、人々の間、人間と地球との連帯を増進**する人間中心の統合した対応を求めていることを確認する

適用

加盟国が、人間の安全保障のアプローチの**適用を拡大**するよう勧奨する

資金

国連人間の安全保障基金が果たしてきた貢献を高く評価し、同基金に対して**財政的支援を強化**するよう加盟国に懇請する

人間の安全保障に関する国連総会本会議討論(4月2日)

- 事務総長報告に関する総会議長主催のテーマ別討論
- 122か国参加、40カ国代表が発言
- 事務総長演説: 新たな時代の複合危機に対応するため人間の安全保障を積極的に活用
- グローバルサウスの有力国も含め圧倒的な支持の発言-政治的支持の高まり
- 一部から留保意見: 定義、国家主権、干渉?



事務総長報告・総会討論のフォローアップ

①: 政治的支持の強化

22-23 September 2024

Summit of the Future

Multilateral Solutions for a Better Tomorrow

Pact for the Future

- 持続可能な開発と開発のための資金
- 国際平和と安全保障
- 科学技術革新、デジタル協力
- 若者、次世代
- グローバルガバナンス
の变革

未来サミットの合意文書への反映

- 岸田総理・国連演説(2023年9月)

未来サミット演説(2024年9月)

- 第2回社会開発サミット(2025年):
第1回1995年





② プログラムへの一層の反映

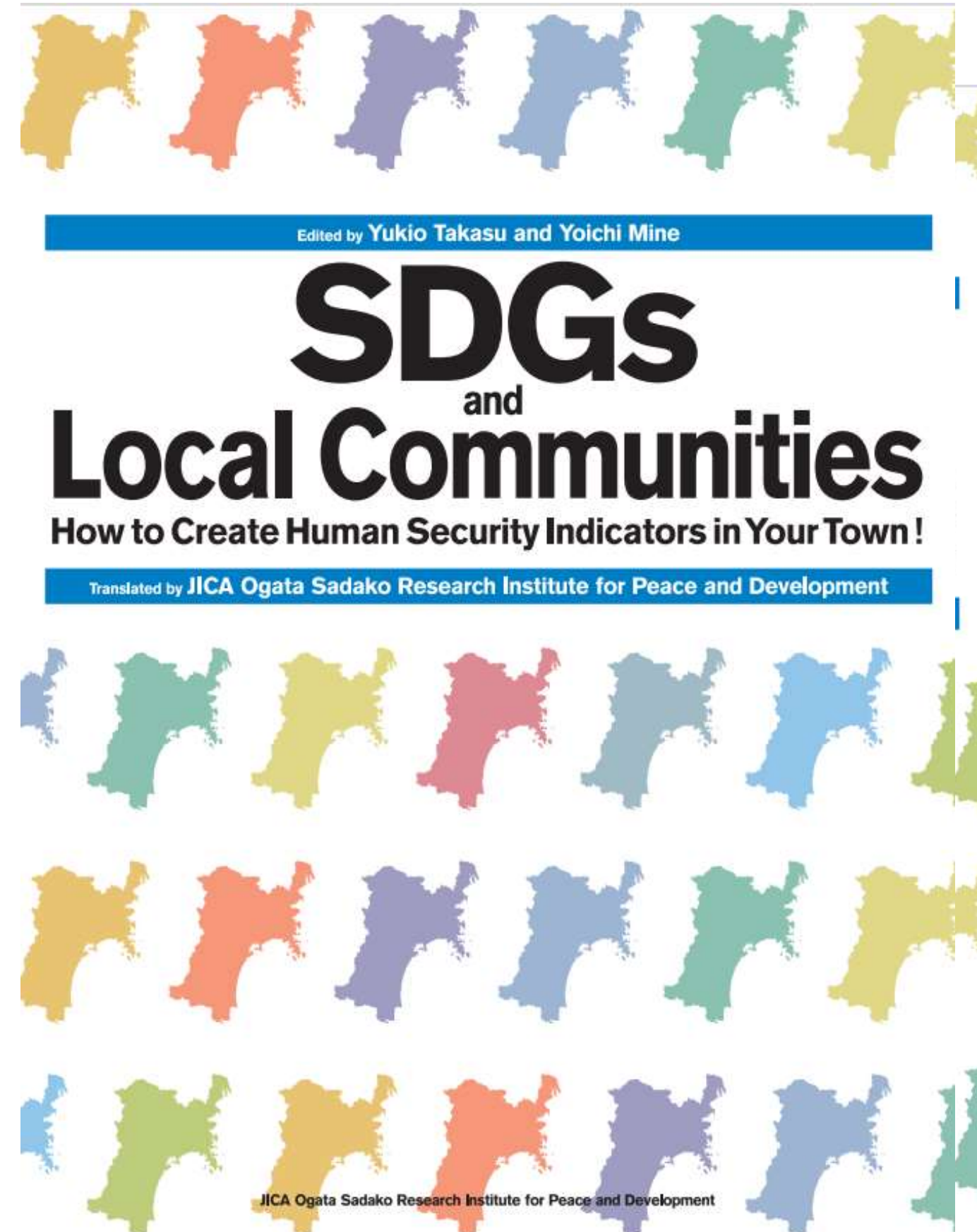
(1) Human Security Approach to accelerate SDG implementation at the sub-national level

国連シンポジウム：SDGsと地域社会(5月8日)

主催：国連(HSU), UNDP/HDRO, JICA緒方平和開発研究所



(2)人間の安全保障指標の汎用性拡大→アフリカHS指標
TICAD2025への貢献



③ 資金的支持の拡大

- 国連の人間の安全保障基金(UNTFHS)
日本政府の提案で国連に設置(1999年)
- 既存の基金では対応しにくい地域レベルの脆弱な立場の人に直接裨益する活動を支援
- 累計5.2億ドルの拠出、305プロジェクトを支援
- 日本政府は一貫して拠出し、日本の国連外交の「顔」として、高い評価と信頼を得てきた
- しかし、近年は、財政状況の厳しさ、新規需要などを反映し、拠出額が減少傾向
- 事務総長報告の5主要課題に沿った、資金基盤の拡大、新規ドナーに向けた新戦略

日本政府の拠出額(100万ドル)

